



シャーシ タスク

次の項で、Chassis ディスプレイのタスクについて説明します。

- [シャーシのカードの表示 \(p.3-2\)](#)
- [内部ゲートウェイ ポートの表示 \(p.3-10\)](#)
- [シャーシの物理ポートの表示 \(p.3-11\)](#)
- [電源ステータスの表示 \(p.3-29\)](#)
- [ファンステータスの表示 \(p.3-31\)](#)
- [温度センサー ステータスの表示 \(p.3-32\)](#)
- [バックプレーン情報の表示 \(p.3-33\)](#)
- [シャーシの管理ポートの表示 \(p.3-34\)](#)
- [InfiniBand 管理ポートのパーティション キーの設定 \(p.3-35\)](#)

シャーシのカードの表示

次の項で、シャーシのカードに関する情報の表示方法、カードのアップ/ダウン管理ステータスの設定方法、カードのビーコンステータスの設定方法、およびカードのリセット方法について説明します。

- [カードのサマリー情報の表示 \(p.3-2\)](#)
- [カードプロパティの表示 \(p.3-4\)](#)
- [カードコンポーネントの表示 \(p.3-7\)](#)
- [カードの管理ステータスの設定 \(p.3-8\)](#)
- [カードのLEDのビーコンステータスの設定 \(p.3-9\)](#)
- [カードのリセット \(p.3-9\)](#)

カードのサマリー情報の表示

シャーシのカードを表示する手順は、次のとおりです。

ステップ 1 Tree フレームで **Chassis** を展開します。

ステップ 2 **Cards** ブランチを選択します。

View フレームにシャーシ上のすべてのカードが含まれるテーブルが表示されます。[表 3-1](#) で、Cards テーブルのフィールドについて説明します。

表 3-1 Cards テーブルのフィールド説明

フィールド	説明
Slot	カードが常駐するシャーシスロット番号
Type	カードのタイプ
Current Status	カードが現在トラフィックを送受信できる場合は、 up が表示されます。そうでない場合は、 down が表示されます。

表 3-1 Cards テーブルのフィールド説明 (続き)

フィールド	説明
Operational State	<p>インターフェイス カードの一般的な状態を表示します。一般的な状態として表示される内容は、次のいずれかです。</p> <ul style="list-style-type: none"> • unknown • normal • bootFailed • tooHot • booting • checkingBootImage • wrongBootImage • rebooting • standby • recoveryImage <p>unknown の状態は、インターフェイス カードがサポートされていないことを示します。この状態を解決するには、カードをサポート対象のカードと交換します。</p> <p>カードの現在のステータスが up と表示されるには、カードの動作状態が normal と表示されている必要があります。</p> <p>wrongBootImage 状態は、インターフェイス カード上のアクティブ システム イメージがコントローラ上のアクティブ システム イメージに一致しないことを示します。すべてのカードがコントローラ カードと同じアクティブ システム イメージを実行している必要があります。</p> <p>bootFailed 状態は、カード上のアクティブ システム イメージのロードが不完全か、正しくないことを示します。他のインターフェイス カードが正常に起動する場合は、このカードをリセットします。それ以外の場合は、装置全体を再起動します。</p> <p>tooHot 状態は、カードが過熱状態であることを示します。Chassis を展開してから、Fans ブランチを選択して、ファンに障害が発生したかどうかを確認します。</p> <p>booting 状態は、内部設定に必要なイメージデータのロードをカードが完了していないことを示します。</p>

表 3-1 Cards テーブルのフィールド説明 (続き)

フィールド	説明
Boot Stage	<p>Boot Stage で表示される内容は、次のいずれかです。</p> <ul style="list-style-type: none"> • recovery • ipl • ppcboot • fpga • pic • ib • rootfs • kernel • exe • done • none
Boot Status	<p>Boot Status で表示される内容は、次のいずれかです。</p> <ul style="list-style-type: none"> • upgrading • success • failed • badVersion • badCrc • memoryError • outOfSpace • programmingError • hardwareError • fileNotFound • inProgress • none

ステップ 3 (任意) **Refresh** をクリックして、ディスプレイのATTRIBUTEを更新します。

カード プロパティの表示

カードプロパティを表示する手順は、次のとおりです。

ステップ 1 Tree フレームで **Chassis** を展開します。

ステップ 2 **Cards** ブランチを選択します。

シャーシ内のすべてのカードが含まれる **Cards** テーブルが表示されます。各テーブルエントリの左側に、オプション ボタンが表示されます。

ステップ 3 表示するプロパティのカードのオプション ボタンをクリックします。

ステップ4 Properties をクリックします。

Card Properties ウィンドウが開きます。表 3-2 で、Card Properties ウィンドウのフィールドについて説明します。

表 3-2 Card Properties ウィンドウのフィールド説明

フィールド	説明
Slot ID	カードが常駐するシャーシスロット番号
Type	カードのタイプ
Admin Status	up および down オプション ボタンを表示します。オプション ボタンをクリックしてから、 Apply をクリックして、管理ステータスを変更し、ポートをアップまたはダウンの状態にします。
Current Status	カードが現在トラフィックを送受信できる場合は、up が表示されます。そうでない場合は、down が表示されます。
Operational State	<p>インターフェイス カードの一般的な状態を表示します。一般的な状態の内容は、次のいずれかです。</p> <ul style="list-style-type: none"> • unknown • normal • wrong-image • bootFailed • tooHot • booting <p>unknown の状態は、インターフェイス カードがサポートされていないことを示します。この状態を解決するには、カードをサポート対象のカードと交換します。</p> <p>カードの現在のステータスが up と表示されるには、カードの動作状態が normal と表示されている必要があります。</p> <p>wrong-image 状態は、インターフェイス カード上のアクティブ システム イメージがコントローラ上のアクティブ システム イメージに一致しないことを示します。すべてのカードが機能するには、コントローラ カードと同じアクティブ システム イメージを実行している必要があります。</p> <p>bootFailed 状態は、カード上のアクティブ システム イメージのロードが不完全か、正しくないことを示します。他のインターフェイス カードが正常に起動する場合は、このカードをリセットします。それ以外の場合は、装置全体を再起動します。</p> <p>カードが過熱している場合は、show card コマンド出力に tooHot 状態が表示されます。show fan コマンドを入力して、ファンに障害が発生したかどうかを確認します。</p> <p>booting 状態は、内部設定に必要なイメージデータのロードをカードが完了していないことを示します。</p>

表 3-2 Card Properties ウィンドウのフィールド説明 (続き)

フィールド	説明
Boot Stage	<p>Boot Stage で表示される内容は、次のいずれかです。</p> <ul style="list-style-type: none"> • recovery • ipl • ppcboot • fpga • pic • ib • rootfs • kernel • exe • done • none
Boot Status フィールド	<p>Boot Status で表示される内容は、次のいずれかです。</p> <ul style="list-style-type: none"> • upgrading • success • failed • badVersion • badCrc • memoryError • outOfSpace • programmingError • hardwareError • fileNotFound • inProgress • none
Beacon Status	<p>カードの LED のビーコン ステータスを表示します。on または off のオプション ボタンをクリックして、カードを LED のビーコン ステータスに切り替えます。ステータスが設定されると、LED ビーコン ボタンが点滅します。</p>
Serial Number	工場で割り当てられたカードの製品シリアル番号
PCA Serial Number	カードの Printed Circuit Assembly (PCA) シリアル番号
PCA Assembly Number	カードの PCA 番号
FRU Number	カードの Field-Replaceable Unit (FRU; 現場交換可能ユニット) 番号
Product Version ID	カードのバージョンの ID 番号
Action (選択カードのみ)	オプション ボタンには、カードに適用できるアクションが表示されます。
Result (選択カードのみ)	Action フィールドからアクションを選択し、 Apply をクリックした場合に生じる結果

カード コンポーネントの表示

カードのメモリおよびイメージの情報を表示する手順は、次のとおりです。

ステップ 1 Tree フレームで **Chassis** を展開します。

ステップ 2 **Cards** ブランチを選択します。

View フレームに **Cards** テーブルが表示されます。

ステップ 3 コンポーネントを表示するカードの横にあるオプション ボタンをクリックします。

ステップ 4 **Inventory** をクリックします。

Cards Inventory ウィンドウが開きます。表 3-3 で、Cards Inventory ウィンドウのフィールドについて説明します。

表 3-3 Card Inventory ウィンドウのフィールド説明

フィールド	説明
Slot ID	カードが常駐するサーバスイッチのスロット
Used Memory	カードで使用されているメモリ (キロバイト)
Free Memory	装置で使用可能なメモリ (キロバイト)
Used Disk Space a	パーティション a で使用されているディスク スペース (キロバイト)
Free Disk Space a	パーティション a で使用可能なディスク スペース (キロバイト)
Used Disk Space b	パーティション b で使用されているディスク スペース (キロバイト)
Free Disk Space b	パーティション b で使用可能なディスク スペース (キロバイト)
Current Image Source	アクティブなオペレーティング システムでカードが実行するイメージ
Image Source for Next Reboot	再起動のときにカードが実行するイメージ
Last Image Source image a	カードの起動時に使用されたイメージを表示します。
Image-a	カードに格納されているパーティション a 上の最初のイメージ
Image-a	カードに格納されているパーティション a 上の 2 番目のイメージ
Last Image Source image b	カードの起動時に使用されたイメージを表示します。
Image-b	カードに格納されているパーティション b 上の最初のイメージ
Image-b	カードに格納されているパーティション b 上の 2 番目のイメージ
CPU Description	カードの CPU の説明
FPGA Firmware Revision (選択カード)	カードが実行している現在の FPGA ファームウェア バージョン
IB Firmware Revision	カードの InfiniBand ファームウェア バージョン InfiniScale III スイッチ チップ (7000 および 7008 プラットフォーム) を考慮して設計されたプラットフォームの場合、Chassis Manager は各カードの InfiniBand チップの装置 ID とバージョン番号を表示します。最初の InfiniScale スイッチ チップ (3001 および 3012 プラットフォーム) を使用したプラットフォームの場合、補足テキストは表示されません。Cisco SFS 3001 および Cisco SFS 3012 シャーシは、最初の InfiniScale スイッチ チップを実行します。Cisco SFS 7000 および Cisco SFS 7008 シャーシは、以降のバージョンを実行します。

表 3-3 Card Inventory ウィンドウのフィールド説明 (続き)

フィールド	説明
Card Uptime	カードが実行されている時間 (秒単位)
Close	Card Inventory ウィンドウを閉じます。
Help	オンライン ヘルプを開きます。

カードの管理ステータスの設定

Chassis Manager を使用して、シャーシ上のカードを起動したり、シャットダウンしたりできます。カードの管理ステータスを設定する手順は、次のとおりです。

ステップ 1 Tree フレームで **Chassis** を展開します。

ステップ 2 **Cards** ブランチを選択します。

シャーシ内のカードのテーブルが **View** フレームに表示されます。各テーブル エントリの左側に、オプション ボタンが表示されます。

ステップ 3 設定するカードのオプション ボタンをクリックします。

ステップ 4 **Properties** をクリックします。

Card Properties ウィンドウが開きます。

ステップ 5 Admin Status フィールドで、**up** または **down** オプション ボタンをクリックしてから、**Apply** をクリックします。

カードの LED のビーコン ステータスの設定

シャーシ上のカードの LED ビーコン ステータスを設定する手順は、次のとおりです。

ステップ 1 Tree フレームで **Chassis** を展開します。

ステップ 2 **Cards** ブランチを選択します。

シャーシ内のカードのテーブルが **View** フレームに表示されます。各テーブル エントリの左側に、オプション ボタンが表示されます。

ステップ 3 設定する LED ビーコン ステータスのカードのオプション ボタンをクリックします。

ステップ 4 **Properties** をクリックします。

Card Properties ウィンドウが開きます。

ステップ 5 Beacon Status フィールドで、**on** または **off** オプション ボタンをクリックしてから、**Apply** をクリックします。

カードのリセット

シャーシのカードをリセットする手順は、次のとおりです。

ステップ 1 Tree フレームで **Chassis** を展開します。

ステップ 2 **Cards** ブランチを選択します。

View フレームに、シャーシ内のすべてのカードが含まれる **Cards** テーブルが表示されます。各テーブル エントリの左側に、オプション ボタンが表示されます。

ステップ 3 リセットするカードの左側にあるオプション ボタンをクリックします。

ステップ 4 **Properties** をクリックします。

Card Properties ウィンドウが開きます。

ステップ 5 Action フィールドで、**reset** オプション ボタンをクリックしてから、**Apply** をクリックします。

内部ゲートウェイポートの表示

ファイバチャネルゲートウェイおよびイーサネットゲートウェイはそれぞれ、2つの内部ポートを使用して、装置を経由するトラフィックを通過させます。



(注) このオプションは、すべてのハードウェアプラットフォームで提供されていません。

ゲートウェイポートの詳細を表示する手順は、次のとおりです。

ステップ 1 Tree フレームで **Chassis** を展開します。

ステップ 2 **Cards** ブランチを選択します。

View フレームに、シャーシ内のすべてのカードが含まれるテーブルが表示されます。各テーブルエントリの左側に、オプションボタンが表示されます。

ステップ 3 表示するゲートウェイ（内部）ポートのカードの左側にあるオプションボタンをクリックします。

ステップ 4 Show Options ドロップダウンメニューから、**Show Gateway Ports** を選択します。

View フレームで Gateway Ports テーブルが開きます。Gateway Ports テーブルのフィールドの説明については、表 3-4 を参照してください。

表 3-4 Gateway Ports テーブルのフィールド説明

フィールド	説明
GW Port	ポート番号 (slot#/port# 形式)
Name	ポート名
Type	ポートタイプ

シャーシの物理ポートの表示

次の項で、シャーシのポートの表示方法について説明します。

- [すべてのポートの表示 \(p.3-11\)](#)
- [ポートプロパティの表示 \(p.3-11\)](#)
- [ポートブリッジングプロパティの表示 \(p.3-15\)](#)
- [ポートの統計情報の表示 \(p.3-16\)](#)
- [ポートの着脱可能小型フォームファクタの表示 \(p.3-17\)](#)
- [ポートの VSAN の表示 \(p.3-18\)](#)

すべてのポートの表示

装置の物理ポートを表示する手順は、次のとおりです。

ステップ 1 Tree フレームで **Chassis** を展開します。

ステップ 2 **Ports** ブランチを選択します。

View フレームにシャーシ上のすべてのポートが含まれるテーブルが表示されます。[表 3-5](#) で、Ports テーブルのフィールドについて説明します。

表 3-5 Ports ディスプレイのフィールド説明

フィールド	説明
Port	ポートの ID (slot#/port# 形式)
Name	ユーザが設定したポート名
Type	ポートのタイプを表示します。名前の最初の文字を入力します (fc の場合はファイバチャネル、en の場合はイーサネット、ib の場合は InfiniBand)。
Admin Status	ポートを起動した場合、 up が表示されます。そうでない場合、 down が表示されます。
Oper Status	ポートが使用できる状態であるかどうかを示します。
MTU	ポートの最大伝送ユニット (Maximum Transmission Unit; MTU) (バイト単位)

ステップ 3 (任意) **Refresh** をクリックして、ディスプレイのアトリビュートを更新します。

ポートプロパティの表示

ポートプロパティを表示する手順は、次のとおりです。

ステップ 1 Tree フレームで **Chassis** を展開します。

ステップ 2 **Ports** ブランチを選択します。

View フレームに、シャーシ内のすべてのポートが含まれる Ports テーブルが表示されます。各テーブルエントリの左側に、オプションボタンが表示されます。

ステップ 3 表示するプロパティのポートのオプション ボタンをクリックします。

ステップ 4 **Properties** をクリックします。

Port Properties ウィンドウが開きます。ポートの各タイプは、このウィンドウで異なるプロパティを表示します。



(注) 使用可能なポート タイプは、ハードウェア プラットフォームによって異なります。

表 3-6 で、イーサネット ポートの Port Properties ウィンドウのフィールドについて説明します。

表 3-6 Ethernet Port Properties ウィンドウのフィールド説明

フィールド	説明
Port	ポート番号 (slot#/port# 形式)
Name	編集し、ポートに適用できるポート名
Type	ポートのタイプ
Admin Status	up および down オプション ボタンで、ポートの管理ステータスを設定します。
Oper Status	ポートが使用できる状態であるかどうかを示します。
Auto Negotiation Supported	ポートが自動ネゴシエーションをサポートする場合、true が表示されます。
Auto Negotiation	Enable チェックボックスは、ポートの自動ネゴシエーションをイネーブルまたはディセーブルにします。
Set Port Speed	ポートの速度を設定できるオプション ボタン
Current Speed	ポートの速度を表示します。
Set Port Duplex	(イーサネット ゲートウェイ ポート) オプション ボタンは、ポートのデュプレックス設定値を設定します。
Current Duplex	(イーサネット ゲートウェイ ポート) ポートが全二重または半二重モードのどちらで稼働するかを示します。
MTU フィールド	ポートの最大伝送ユニットをバイト単位で表示します。
MAC Address	(イーサネット ゲートウェイ ポート) アドレス解決プロトコルテーブルの内容を削除します。
Last Changed On	ポートが最後に設定された日時
Action	(イーサネット ゲートウェイ ポート) flushArp オプション ボタンをクリックする場合には、アドレス解決プロトコルテーブルの内容を削除してから、 Apply をクリックします。 none オプション ボタンを選択する場合はアクションを実行せずに、 Apply をクリックします。
Result	(イーサネット ゲートウェイ ポート) Action フィールドに、アクションの結果を表示します。

表 3-7 で、ファイバチャネルポートの Port Properties ウィンドウのフィールドについて説明します。

表 3-7 Fibre Channel Port Properties ウィンドウのフィールド説明

フィールド	説明
Port	ポート番号 (slot#/port# 形式)
Name	編集し、ポートに適用できるポート名
Type	ポートのタイプを表示します。
Admin Status	ポートの管理ステータスを設定する up および down オプション ボタン
Oper Status	ポートが物理上使用可能な状態であるときは、up が表示されます。そうでない場合は、down が表示されます。
Auto Negotiation Supported	ポートが自動ネゴシエーションをサポートする場合、true が表示されます。
Auto Negotiation	Enable チェックボックスは、ポートの自動ネゴシエーションをイネーブルまたはディセーブルにします。
Set Port Speed	ポートの速度を設定するオプション ボタンを表示します。設定可能な速度は、1G、2G、および 4G です。
Current Speed	ポートの速度を表示します。
Admin Connection Type	管理接続のタイプを示すオプション ボタンを表示します。
Current Connection Type	このポートに対してサーバスイッチが動的に検出した接続タイプ
MTU	ポートの最大伝送ユニット (バイト単位)
WWNN	装置の World-Wide Node Name (WWNN)
WWPN	ポートの World-Wide Port Name (WWPN)
FC ID	ポートの Fibre Channel Protocol (FCP) ID
Last Changed On	ユーザが最後にポートを設定した日時
Principle Switch WWNN	ポートが関連付けられる主要ファイバチャネルの 64 ビットの WWNN を表示します。
Dist Services Timeout	FC の E Port d_s_tov (この値は、分散サービスのリクエストが応答を待機するのに必要な時間を示します) を表示します (ミリ秒)。
Error Detect Timeout	FC の E Port e_d_tov (エラー状態を検出するのに必要なタイムアウト値) (ミリ秒) を表示します。 すべての VSAN スイッチには同じ値が設定されます。VSAN の管理ステータスがアクティブステータスに設定されている場合、Reset 動作によりエラーが発生します。
Fabric Stability Timeout	FC の E Port f_s_tov (ファブリック設定中のファブリック安定性が実現されたことを確認するのに必要なタイムアウト値) (ミリ秒) で表示します。 この値は、すべての VSAN で共通です。
Receive Transmission Timeout	FC の E Port r_t_tov (伝送を受け取るのに必要なタイムアウト値) (ミリ秒) を表示します。
Resource Alloc Timeout	FC の E Port r_a_tov (NxPort リソースを再利用する時間を決定するのに必要なタイムアウト値) (ミリ秒) を表示します。
Check Age	FC の E Port CheckAge (秒) を表示します。
Hello Dead Interval	FC の HelloDeadInterval (秒) を表示します。
Hello Interval	FC の HelloInterval (秒) を表示します。

表 3-7 Fibre Channel Port Properties ウィンドウのフィールド説明 (続き)


フィールド	説明
Link State Ack Interval	FC の E_Port l_t_tov (秒) を表示します。
Link State Refresh Time	リンク ステートをリフレッシュするのに必要な時間間隔を表示します。
Maximum Age	ファイバチャネルの E_Port m_a_tov (分) を表示します。
Admin Domain ID	Domain ID が設定されたファイバチャネルの E_Port を表示します。InteropMode はその範囲を決定します。 FC ゲートウェイが割り当てられた OperDomainID をファブリックから取得しようとする場合に、DomainID が設定されていない場合は、値 0 (ゼロ) が使用されます。0 以外の値が設定されている場合、この値はスタティックな DomainID として使用されます。
Oper Domain ID	ファブリック チャネルのポートのランタイム ID を表示します。
Interop Mode	この VSAN 上のローカル スイッチの相互運用性を表示します。使用可能なモードは、次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> • Native • BrocadeandMCData • Brocadelessthan16ports • Brocademorethan16ports • MCDataNative
Connection Error Code	ファイバチャネル接続のエラーコードを表示します。
Port WWNN	設定されたポートの WWNN を表示します。

表 3-8 で、InfiniBand ポートの Port Properties ウィンドウのフィールドについて説明します。

表 3-8 InfiniBand ポートの Properties ウィンドウのフィールド説明

フィールド	説明
Port	ポート番号 (slot#/port# 形式)
Name	編集し、ポートに適用できるポート名
Type	ポートのタイプ
Admin Status	ポートの管理ステータスを設定する up および down オプション ボタン
Oper Status	ポートが物理上使用可能な状態であるときは、up が表示されます。そうでない場合は、down が表示されます。
Auto Negotiation Supported	ポートが自動ネゴシエーションをサポートする場合、true が表示されます。
Auto Negotiation	Enable チェックボックスは、ポートの自動ネゴシエーションをイネーブルまたはディセーブルにします。

表 3-8 InfiniBand ポートの Properties ウィンドウのフィールド説明 (続き)

フィールド	説明
Set Port Speed	ド롭ダウンメニューは、リンク幅 (1x、4x、または 12x) とレーン速度 (SDR または DDR) に関して、ポートのリンク キャパシティを設定します。有効なオプションは 1x-SDR (2.5 Gbps)、4x-SDR (10 Gbps)、12x-SDR (30 Gbps)、1x-DDR (5 Gbps)、4x-DDR (20 Gbps)、12x-DDR (60 Gbps) です。  (注) SDR ケーブルまたは 8 フィートより長いケーブルで接続された InfiniBand ポートの場合、SDR だけをサポートするように手動でポートを設定する必要があります。
Current Speed	ポートのリンク キャパシティ
Physical State	ポートの物理状態
Clear Counters	このチェックボックスを使用すると、InfiniBand ポートのカウンタをクリアできます。
MTU	ポートの最大伝送ユニット (バイト単位)
Last Changed On	ユーザが最後にポートを設定した日時

ポートブリッジングプロパティの表示

ポートが所属するブリッジを表示する手順は、次のとおりです。

ステップ 1 Tree フレームで **Chassis** を展開します。

ステップ 2 **Ports** ブランチを選択します。

View フレームに、シャーシ内のすべてのポートが含まれる Ports テーブルが表示されます。各テーブルエントリの左側に、オプション ボタンが表示されます。

ステップ 3 表示するブリッジングプロパティのポートの横にあるオプション ボタンをクリックします。

ステップ 4 Show Options ドロップダウンメニューから **Show Bridging** を選択します。

View フレームに Port Bridging テーブルが表示されます。表 3-9 で、Port Bridging テーブルのフィールドについて説明します。

表 3-9 Port Bridging テーブルのフィールド説明

フィールド	説明
Port	Ports テーブルから選択したポート
Vlan	ポートが所属するブリッジの VLAN
Bridge ID	ポートが所属するブリッジのブリッジ ID

ポートの統計情報の表示

ポートの統計情報を表示する手順は、次のとおりです。

ステップ 1 Tree フレームで **Chassis** を展開します。

ステップ 2 **Ports** ブランチを選択します。

View フレームに Ports テーブルが表示されます。

ステップ 3 表示する統計情報のポートの横にあるオプション ボタンをクリックします。

ステップ 4 Show Options ドロップダウン メニューから、**Show Port Statistics** を選択します。

View フレームに Port Statistics ディスプレイが表示されます。表 3-10 で、Port Statistics ディスプレイのフィールドについて説明します。

表 3-10 Port Statistics ディスプレイのフィールド説明

フィールド	説明
Port	サブネット マネージャが割り当てたポート番号
Name	管理上割り当てられたポート名
In Octets	ポートに到着したオクテットの累積数（フレーム文字を含みます）
In Unicast Packets	1つのポート宛ての着信パケットの累積数
In Multicast Packets	マルチキャスト グループのポート宛ての着信パケットの累積数
In Broadcast Packets	ファブリックのすべてのポート宛ての着信パケットの累積数
In Discards	パケット エラー（バッファ スペース不足）以外の理由でポートが廃棄したインバウンドパケットの累積数
In Errors	ポートが廃棄したエラーのあるインバウンドパケット数
In Unknown Protocols	パケット指向インターフェイスの場合、不明なプロトコルまたはサポート対象外のプロトコルのために廃棄された、インターフェイス経由で受信されたパケット数です。プロトコル多重化をサポートする文字指向インターフェイスまたは固定長インターフェイスの場合、不明なプロトコルまたはサポート対象外のプロトコルのために廃棄された、インターフェイス経由で受信された伝送ユニット数です。プロトコル多重化をサポートしないインターフェイスの場合、このカウンタは常に 0 になります。
Out Octets	インターフェイスから送信されたオクテットの合計数（フレーム文字を含みます）
Out Unicast Packets	上位レベルのプロトコルの送信が要求され、宛先がこのサブレイヤのマルチキャストまたはブロードキャスト アドレスではないパケットの合計数（廃棄されたパケットまたは未送信のパケットを含みます）
Out Multicast Packets	上位レベルのプロトコルの送信が要求され、宛先がこのサブレイヤのマルチキャスト アドレスのパケットの合計数（廃棄されたパケットまたは未送信のパケットを含みます）。MAC レイヤ プロトコルの場合、Group アドレスと Functional アドレスの両方が含まれます。
Out Broadcast Packets	上位レベルのプロトコルの送信が要求され、宛先がこのサブレイヤのブロードキャスト アドレスのパケットの合計数（廃棄されたパケットまたは未送信のパケットを含みます）

表 3-10 Port Statistics ディスプレイのフィールド説明 (続き)

フィールド	説明
Out Discards	送信を妨げるエラーが検出されなかった場合でも、廃棄対象になったアウトバウンドパケット数。このようなパケットが廃棄される理由の1つとして考えられるのは、空きバッファスペースです。
Out Errors	パケット指向インターフェイスの場合、エラーによって送信されなかったアウトバウンドパケット数です。文字指向インターフェイスまたは固定長インターフェイスの場合、エラーによって送信されなかったアウトバウンド伝送ユニット数です。

ポートの着脱可能小型フォーム ファクタの表示

ファイバチャネルポートに存在するポートの着脱可能小型フォームファクタ (SFP) を表示する手順は、次のとおりです。

- ステップ 1** Tree フレームで **Chassis** を展開します。
- ステップ 2** **Ports** ブランチを選択します。
View フレームに Ports テーブルが表示されます。
- ステップ 3** 表示する統計情報のポートの横にあるオプション ボタンをクリックします。
- ステップ 4** Show Options ドロップダウンメニューから、**Show SFP** を選択します。
- ステップ 5** View フレームに Show SFP ディスプレイが表示されます。表 3-11 で、Show SFP ディスプレイのフィールドについて説明します。

表 3-11 SFP ディスプレイのフィールド説明

フィールド	説明
State	ファイバチャネルポートの SFP の状態
Product Id	SCSI 製品の整数値の ID
Vendor Id	SCSI ベンダーの整数値の ID
Vendor Serial Number	SFP ベンダーのシリアル番号
CLEI Code	SFP CLEI コード
Cisco Part Number	CFP のシスコ製品番号
VID	SFP VID



(注) Show SFP オプションは、ファイバチャネルポートでのみ有効です。

ポートの VSAN の表示

ファイバチャネルポートに存在する VSAN を表示する手順は、次のとおりです。

ステップ 1 Tree フレームで **Chassis** を展開します。

ステップ 2 **Ports** ブランチを選択します。

View フレームに Ports テーブルが表示されます。

ステップ 3 表示する VSAN のポートの横にあるオプション ボタンをクリックします。

ステップ 4 Show Options ドロップダウンメニューから、**Show VSAN** を選択します。

View フレームに Show VSAN ディスプレイが表示されます。表 3-12 で、Show VSAN ディスプレイのフィールドについて説明します。

表 3-12 VSAN ディスプレイのフィールド説明

フィールド	説明
VSAN ID	ファイバチャネルの VSAN の整数値の ID この値の範囲は、1 ~ 4093 です。
Current VSAN ID	ファイバチャネルに割り当てられた現在の VSAN の整数値の ID
Trunk Mode	ファイバチャネルのトランクグループの使用可能なモード使用可能なモードは、nonTrunk、trunk、および auto です。
Current Trunk Mode	ファイバチャネルに割り当てられたトランクグループの現在のモード
Allowed VSANs	ファイバチャネルに設定可能な VSAN の数
Active VSANs	現在ファイバチャネルにされているアクティブ VSAN の数
Up VSANs	アクティブ (アップ) ステータスである VSAN の数

ポートの設定

Chassis Manager は、ポート タイプ別に異なる設定オプションを提供します。各ポートで使用できるオプションが、Port Properties ウィンドウに表示されます。

次の項で、ポート プロパティの設定方法について説明します。

- [ポート名の設定 \(p.3-19\)](#)
- [カードの管理ステータスの設定 \(p.3-8\)](#)
- [ポートのイネーブル化またはディセーブル化 \(p.3-20\)](#)
- [ポートの自動ネゴシエーションの設定 \(p.3-21\)](#)
- [ポート速度の設定 \(p.3-21\)](#)
- [InfiniBand ポートカウンタのクリア \(p.3-22\)](#)
- [ポートの管理接続タイプの設定 \(p.3-22\)](#)
- [ポートの Interop モードの設定 \(p.3-23\)](#)
- [分散サービスのタイムアウトの設定 \(p.3-24\)](#)
- [エラー検出タイムアウトの設定 \(p.3-24\)](#)
- [リソース割り当て時間の設定 \(p.3-25\)](#)
- [Hello Dead インターバルの設定 \(p.3-25\)](#)
- [Hello インターバルの設定 \(p.3-25\)](#)
- [リンク ステートの Ack インターバルの設定 \(p.3-26\)](#)
- [管理 oper ドメイン ID の設定 \(p.3-26\)](#)
- [ポートの WWNN の設定 \(p.3-27\)](#)
- [ポートの VSAN の設定 \(p.3-27\)](#)

ポート名の設定

ポートの管理名を設定する手順は、次のとおりです。

ステップ 1 Tree フレームで **Chassis** を展開します。

ステップ 2 **Ports** ブランチを選択します。

View フレームに **Ports** テーブルが表示されます。各テーブル エントリの左側に、オプション ボタンが表示されます。

ステップ 3 名前を割り当てるポートのオプション ボタンをクリックします。

ステップ 4 **Properties** をクリックします。

Port Properties ウィンドウが開きます。

ステップ 5 Port Properties ウィンドウの Name フィールドに、ポートの名前を入力してから、**Apply** をクリックします。

ステップ 6 **Close** をクリックして、Port Properties ウィンドウを閉じます。

ポートの管理ステータスの設定

ポートの管理ステータスを設定する手順は、次のとおりです。

ステップ 1 Tree フレームで **Chassis** を展開します。

ステップ 2 **Ports** ブランチを選択します。

シャーシ内のポートのテーブルが **View** フレームに表示されます。各テーブル エントリの左側に、オプション ボタンが表示されます。

ステップ 3 設定するポートのオプション ボタンをクリックします。

ステップ 4 **Properties** をクリックします。

Port Properties ウィンドウが開きます。

Admin Status フィールドで、**up** または **down** オプション ボタンをクリックしてから、**Apply** をクリックします。

ステップ 5 **Close** をクリックして、Port Properties ウィンドウを閉じます。

ポートのイネーブル化またはディセーブル化

ポートをイネーブルまたはディセーブルにする手順は、次のとおりです。

ステップ 1 Tree フレームで **Chassis** アイコンを展開します。

ステップ 2 **Ports** ブランチを選択します。

View フレームに **Ports** テーブルが表示されます。各テーブル エントリの左側に、オプション ボタンが表示されます。

ステップ 3 イネーブルまたはディセーブルにするポートのオプション ボタンをクリックします。

ステップ 4 **Properties** をクリックします。

Port Properties ウィンドウが開きます。

ステップ 5 Port Properties ウィンドウの Admin Status フィールドで、**up** (イネーブル) または **down** (ディセーブル) オプション ボタンをクリックしてから、**Apply** をクリックします。

ステップ 6 **Close** をクリックして、Port Properties ウィンドウを閉じます。

ポートの自動ネゴシエーションの設定

ポートの自動ネゴシエーションをイネーブルまたはディセーブルにする手順は、次のとおりです。

ステップ 1 Tree フレームで **Chassis** を展開します。

ステップ 2 **Ports** ブランチを選択します。

View フレームに **Ports** テーブルが表示されます。各テーブル エントリの左側に、オプション ボタンが表示されます。

ステップ 3 自動ネゴシエーションをイネーブルまたはディセーブルにするポートのオプション ボタンをクリックします。

ステップ 4 **Properties** をクリックします。

Port Properties ウィンドウが開きます。

ステップ 5 Port Properties ウィンドウの **Auto Negotiation** フィールドで、**Enable** チェックボックスをオン（イネーブル）またはオフ（ディセーブル）にしてから、**Apply** をクリックします。

ステップ 6 **Close** をクリックして、Port Properties ウィンドウを閉じます。

ポート速度の設定



(注) ポート速度を設定する前に、自動ネゴシエーションをディセーブルにする必要があります。

SDR ケーブルまたは 8 フィートより長いケーブルで接続された InfiniBand ポートの場合、SDR だけをサポートするように手動でポートを設定する必要があります。

ポートの速度を設定する手順は、次のとおりです。

ステップ 1 Tree フレームで **Chassis** を展開します。

ステップ 2 **Ports** ブランチを選択します。

View フレームに **Ports** テーブルが表示されます。各テーブル エントリの左側に、オプション ボタンが表示されます。

ステップ 3 速度を設定するポートのオプション ボタンをクリックします。

ステップ 4 **Properties** をクリックします。

Port Properties ウィンドウが開きます。

- ステップ 5** 必要な場合、Auto Negotiation フィールドで、**Enable** チェックボックスをオフにして、自動ネゴシエーションをディセーブルにします。
- ステップ 6** Port Properties ウィンドウの Set Port Speed フィールドで、次のように速度を選択します。
- イーサネットまたはファイバ チャネル ポートの場合は、オプション ボタンをクリックして、速度を選択します。
 - InfiniBand ポートの場合は、ドロップダウン メニューから速度を選択します。
- ステップ 7** **Apply** をクリックします。
- ステップ 8** **Close** をクリックして、Port Properties ウィンドウを閉じます。
-

InfiniBand ポート カウンタのクリア

InfiniBand ポート カウンタをクリアする手順は、次のとおりです。

- ステップ 1** Tree フレームで **Chassis** を展開してから、**Ports** ブランチを選択します。
- View フレームに Ports テーブルが表示されます。各テーブル エントリの左側に、オプション ボタンが表示されます。
- ステップ 2** カウンタをクリアするポートのオプション ボタンをクリックします。
- ステップ 3** **Properties** をクリックします。
- Port Properties ウィンドウが開きます。
- ステップ 4** **Clear Counters** チェックボックスをオンにします。
- ステップ 5** **Apply** をクリックしてから、**Close** をクリックします。
-

この手順でクリアしたカウンタの説明については、[表 3-10](#) を参照してください。

ポートの管理接続タイプの設定

ポートの管理接続タイプを設定する手順は、次のとおりです。

- ステップ 1** Tree フレームで **Chassis** を展開します。
- ステップ 2** **Ports** ブランチを選択します。
- シャーシ内のポートのテーブルが View フレームに表示されます。各テーブル エントリの左側に、オプション ボタンが表示されます。

ステップ3 設定するファイバチャネルポートのオプションボタンをクリックします。

ステップ4 **Properties** をクリックします。

Port Properties ウィンドウが開きます。

ステップ5 Admin Connection Type フィールドで、オプションボタンをクリックして、設定する接続タイプを選択します。設定可能なオプションは、次のとおりです。

- NLPort
- BPort
- FPort
- RPort
- EorFPort

ステップ6 **Apply** をクリックしてから、**Close** をクリックして、Properties ウィンドウを閉じます。

ポートの Interop モードの設定

ポートの Interop モードを設定する手順は、次のとおりです。

ステップ1 Tree フレームで **Chassis** を展開します。

ステップ2 **Ports** ブランチを選択します。

シャーシ内のポートのテーブルが View フレームに表示されます。各テーブル エントリの左側に、オプションボタンが表示されます。

ステップ3 設定するファイバチャネルポートのオプションボタンをクリックします。

ステップ4 **Properties** をクリックします。

Port Properties ウィンドウが開きます。

ステップ5 Interop Mode フィールドで、オプションボタンをクリックして、設定するモードタイプを選択します。設定可能なオプションは、次のとおりです。

- Native
- Brocadeand MCDData
- Brocadelessthan16Ports
- Brocademorethan16Ports
- MCDDataNative

ステップ6 **Apply** をクリックしてから、**Close** をクリックして、Properties ウィンドウを閉じます。

分散サービスのタイムアウトの設定

分散サービスのタイムアウトを設定する手順は、次のとおりです。

ステップ 1 Tree フレームで **Chassis** を展開します。

ステップ 2 **Ports** ブランチを選択します。

シャーシ内のポートのテーブルが **View** フレームに表示されます。各テーブル エントリの左側に、オプション ボタンが表示されます。

ステップ 3 設定するファイバチャネル ポートのオプション ボタンをクリックします。

ステップ 4 **Properties** をクリックします。

Port Properties ウィンドウが開きます。

ステップ 5 Dist Services Timeout フィールドで整数（5000 ~ 100000）を入力して、リクエストが応答を待機するのに必要な時間（ミリ秒）を設定します。

ステップ 6 **Apply** をクリックしてから、**Close** をクリックして、Properties ウィンドウを閉じます。

エラー検出タイムアウトの設定

エラー検出のタイムアウトを設定する手順は、次のとおりです。

ステップ 1 Tree フレームで **Chassis** を展開します。

ステップ 2 **Ports** ブランチを選択します。

シャーシ内のポートのテーブルが **View** フレームに表示されます。各テーブル エントリの左側に、オプション ボタンが表示されます。

ステップ 3 設定するファイバチャネル ポートのオプション ボタンをクリックします。

ステップ 4 **Properties** をクリックします。

Port Properties ウィンドウが開きます。

ステップ 5 Error Detect Timeout フィールドに整数（1000 ~ 100000）を入力して、エラー状態を検出するのに必要な時間（ミリ秒）を設定します。

ステップ 6 **Apply** をクリックしてから、**Close** をクリックして、Properties ウィンドウを閉じます。

リソース割り当て時間の設定

リソース割り当てのタイムアウトを設定する手順は、次のとおりです。

ステップ 1 Tree フレームで **Chassis** を展開します。

ステップ 2 **Ports** ブランチを選択します。

シャーシ内のポートのテーブルが **View** フレームに表示されます。各テーブル エントリの左側に、オプション ボタンが表示されます。

ステップ 3 設定するファイバチャネル ポートのオプション ボタンをクリックします。

ステップ 4 **Properties** をクリックします。

Port Properties ウィンドウが開きます。

ステップ 5 Resource Alloc Timeout フィールドに整数 (5000 ~ 100000) を入力して、N x ポートのリソースの再利用を決定するのに必要な時間 (ミリ秒) を設定します。

ステップ 6 **Apply** をクリックしてから、**Close** をクリックして、Properties ウィンドウを閉じます。

Hello Dead インターバルの設定

Hello Dead インターバルを設定する手順は、次のとおりです。

ステップ 1 Tree フレームで **Chassis** を展開します。

ステップ 2 **Ports** ブランチを選択します。

シャーシ内のポートのテーブルが **View** フレームに表示されます。各テーブル エントリの左側に、オプション ボタンが表示されます。

ステップ 3 設定するファイバチャネル ポートのオプション ボタンをクリックします。

ステップ 4 **Properties** をクリックします。

Port Properties ウィンドウが開きます。

ステップ 5 Hello Dead Interval フィールドで整数 (2 ~ 65535) を入力して、必要な時間 (秒) を設定します。

ステップ 6 **Apply** をクリックしてから、**Close** をクリックして、Properties ウィンドウを閉じます。

Hello インターバルの設定

Hello インターバルを設定する手順は、次のとおりです。

ステップ 1 Tree フレームで **Chassis** を展開します。

ステップ 2 **Ports** ブランチを選択します。

シャーシ内のポートのテーブルが **View** フレームに表示されます。各テーブル エントリの左側に、オプション ボタンが表示されます。

ステップ 3 設定するファイバチャネル ポートのオプション ボタンをクリックします。

ステップ 4 **Properties** をクリックします。

Port Properties ウィンドウが開きます。

ステップ 5 Hello Interval フィールドで整数 (2 ~ 65535) を入力して、必要な時間 (秒) を設定します。

ステップ 6 **Apply** をクリックしてから、**Close** をクリックして、**Properties** ウィンドウを閉じます。

リンク ステートの Ack インターバルの設定

リンク ステートの Ack インターバルを設定する手順は、次のとおりです。

ステップ 1 Tree フレームで **Chassis** を展開します。

ステップ 2 **Ports** ブランチを選択します。

シャーシ内のポートのテーブルが **View** フレームに表示されます。各テーブル エントリの左側に、オプション ボタンが表示されます。

ステップ 3 設定するファイバチャネル ポートのオプション ボタンをクリックします。

ステップ 4 **Properties** をクリックします。

Port Properties ウィンドウが開きます。

ステップ 5 Link State Ack Interval フィールドで整数 (1 ~ 65535) を入力して、必要な時間 (秒) を設定します。

ステップ 6 **Apply** をクリックしてから、**Close** をクリックして、**Properties** ウィンドウを閉じます。

管理 oper ドメイン ID の設定

管理 oper ドメイン ID を設定する手順は、次のとおりです。

ステップ 1 Tree フレームで **Chassis** を展開します。

ステップ 2 **Ports** ブランチを選択します。

シャーシ内のポートのテーブルが **View** フレームに表示されます。各テーブル エントリの左側に、オプション ボタンが表示されます。

ステップ 3 設定するファイバチャネルポートのオプション ボタンをクリックします。

ステップ 4 **Properties** をクリックします。

Port Properties ウィンドウが開きます。

ステップ 5 Admin Oper Domain ID に整数 () を入力して、管理 oper ドメイン ID を設定します。ゼロ以外の値が設定されている場合、この値はスタティックなドメイン ID として使用されます。0 ~ 255 の値を入力できます。

ステップ 6 **Apply** をクリックしてから、**Close** をクリックして、Properties ウィンドウを閉じます。

ポートの WWNN の設定

WWNN を設定する手順は、次のとおりです。

ステップ 1 Tree フレームで **Chassis** を展開します。

ステップ 2 **Ports** ブランチを選択します。

シャーシ内のポートのテーブルが **View** フレームに表示されます。各テーブル エントリの左側に、オプション ボタンが表示されます。

ステップ 3 設定するファイバチャネルポートのオプション ボタンをクリックします。

ステップ 4 **Properties** をクリックします。

Port Properties ウィンドウが開きます。

ステップ 5 Port WWNN フィールドに WWNN の値を入力して、ポートの WWNN の名前を設定します。

ステップ 6 **Apply** をクリックしてから、**Close** をクリックして、Properties ウィンドウを閉じます。

ポートの VSAN の設定

ファイバチャネルポートに存在する VSAN を設定する手順は、次のとおりです。

ステップ 1 Tree フレームで **Chassis** を展開します。

ステップ 2 **Ports** ブランチを選択します。

View フレームに Ports テーブルが表示されます。各テーブル エントリの左側に、オプション ボタンが表示されます。

ステップ 3 設定するファイバ チャネル ポートのオプション ボタンをクリックします。

ステップ 4 Show Options ドロップダウン メニューから、**Show VSAN** を選択します。

View フレームで、Port VSAN ウィンドウが開きます。

ステップ 5 (任意) VSAN ID フィールドに整数値の ID を入力します。

ステップ 6 オプション ボタンをクリックして Trunk Mode フィールドのトランク モードを選択します。使用可能なモードは、nonTrunk、trunk、および auto です。

ステップ 7 選択されたポート上で使用可能な VSAN 番号を入力してから、**Apply** をクリックします。

電源ステータスの表示

次の項で、電源に関する情報の表示方法について説明します。

- 電源のサマリー情報の表示 (p.3-29)
- 電源プロパティの表示 (p.3-30)

電源のサマリー情報の表示

装置の電源ステータスを表示する手順は、次のとおりです。



(注)

すべてのハードウェアプラットフォームに電源情報は含まれません。このような場合、Power Supplies ブランチは表示されません。

ステップ 1 Tree フレームで **Chassis** を展開します。

ステップ 2 **Power Supplies** ブランチを選択します。

View フレームに Power Supplies テーブルが表示されます。表 3-13 で、Power Supplies テーブルのフィールドについて説明します。

表 3-13 Power Supply テーブルのフィールド説明

フィールド	説明
PS ID	電源の数値による ID。装置の電源の詳細については、サーバスイッチのハードウェア インストレーション ガイドを参照してください。
Type	電源のタイプ (AC または DC)
Admin Status	電源をアクティブにした場合、 up が表示されます。電源をディセーブルにした場合、 down (選択シャーシでのみ) が表示されます。
Current Status	up が表示されている場合、電源が機能しており、現在装置に電源が供給されていることを示します。 down が表示されている場合、電源に障害があります。
Utilization	合計電源リソースに対する使用中の電源リソースの割合
Voltage	電源の電圧

電源プロパティの表示

装置の電源プロパティを表示する手順は、次のとおりです。

ステップ 1 Tree フレームで **Chassis** を展開します。

ステップ 2 **Power Supplies** ブランチを選択します。

View フレームに Power Supplies テーブルが表示されます。

ステップ 3 表示するプロパティの電源の横にあるオプション ボタンをクリックします。

ステップ 4 **Properties** をクリックします。

Power Supply Properties ウィンドウが開きます。表 3-14 で、Power Supply Properties テーブルのフィールドについて説明します。

表 3-14 Power Supply Property ウィンドウのフィールド説明

フィールド	説明
PS ID	電源の数値による ID。装置の電源の詳細については、サーバスイッチのハードウェア インストレーション ガイドを参照してください。
Type	電源のタイプ (AC または DC)
Current Status	up が表示されている場合、電源が機能しており、現在装置に電源が供給されていることを示します。down が表示されている場合、電源に障害があります。
Utilization	合計電源リソースに対する使用中の電源リソースの割合
Voltage	電源の電圧
Product Serial Num	電源の製品シリアル番号
PCA Serial Num	電源の PCA シリアル番号
PCA Assembly Num	電源の PCA アセンブリ番号
FRU Num	電源の FRU 番号
Product Version ID	電源のバージョン

ファンステータスの表示

次の項で、ファンステータスの表示方法について説明します。

- [ファンのサマリー情報の表示 \(p.3-31\)](#)
- [ファンプロパティの表示 \(p.3-31\)](#)

ファンのサマリー情報の表示

装置のファンステータスを表示する手順は、次のとおりです。

ステップ 1 Tree フレームで **Chassis** を展開します。

ステップ 2 **Fans** ブランチを選択します。

View フレームに Fans テーブルが表示されます。表 3-15 で、Fans テーブルのフィールドについて説明します。

表 3-15 Fan テーブルのフィールド説明

フィールド	説明
Fan ID	ファンまたはブローモジュールの数値による ID。詳細については、サーバスイッチのハードウェア インストールガイドを参照してください。
Current Status	ファンが正常に作動している場合、 up が表示されます。そうでない場合、 down が表示されます。
Speed (%)	最大速度に対するファン速度の割合

ファンプロパティの表示

装置のファンプロパティを表示する手順は、次のとおりです。

ステップ 1 Tree フレームで **Chassis** を展開します。

ステップ 2 **Fans** ブランチを選択します。

View フレームに Fans テーブルが表示されます。

ステップ 3 表示するプロパティのファンの横にあるオプション ボタンをクリックします。

ステップ 4 **Properties** をクリックします。

View フレームに Fans Properties ウィンドウが開かれます。表 3-16 で、Fans Properties テーブルのフィールドについて説明します。

表 3-16 Fan Properties ウィンドウのフィールド説明

フィールド	説明
Fan ID	ファンの数値による ID。詳細については、ファンのマニュアルを参照してください。
Current Status	ファンが正常に作動している場合、up が表示されます。そうでない場合、down が表示されます。
Speed	最大速度に対するファン速度の割合
Product Serial Num	ファンの製品シリアル番号
PCA Serial Num	ファンの PCA シリアル番号
PCA Assembly Num	ファンの PCA アセンブリ番号
FRU Num	ファンの FRU 番号
Product Version ID	ファンのバージョンの ID 番号

温度センサー ステータスの表示

装置の電源ステータスを表示する手順は、次のとおりです。

ステップ 1 Tree フレームで **Chassis** を展開します。

ステップ 2 **Sensors** ブランチを選択します。

View フレームに Sensors テーブルが表示されます。表 3-17 で、Sensors テーブルのフィールドについて説明します。

表 3-17 Sensors テーブルのフィールド説明

フィールド	説明
Slot ID	温度センサーが装着されたスロットの数値による ID。装置のスロットに関する詳細については、ハードウェアのマニュアルを参照してください。
Sensor ID	温度センサーの数値による ID を表示します。
Current Status	センサーが機能している場合、up が表示されます。センサーに障害がある場合、down が表示されます。
Operational Code (Oper Code)	センサーの動作コード。このフィールドには、normal、tempAlert、currAlert、または voltAlert が表示されます。
Current Temp (選択シャーシ)	シャーシの現在の温度を表示します。
Alarm Temp (選択シャーシ)	アラームをトリガーするシャーシの温度を表示します。
Shutdown Temp (選択シャーシ)	シャットダウンをトリガーするシャーシの温度を表示します。

バックプレーン情報の表示

バックプレーン情報を表示する手順は、次のとおりです。



(注)

この機能は、すべてのハードウェアプラットフォームで使用できません。

ステップ 1 Tree フレームで **Chassis** を展開します。

ステップ 2 **Backplane** ブランチを選択します。

View フレームに **Backplane** ディスプレイが表示されます。表 3-18 で、Backplane ディスプレイのフィールドについて説明します。

表 3-18 Backplane ディスプレイのフィールド説明

フィールド	説明
Serial Number	工場で割り当てられた製品シリアル番号
PCA Serial Number	PCA シリアル番号
PCA Assembly Number	PCA アセンブリ番号
FRU Num	FRU 番号
Chassis ID	シャーシの GUID
Base MAC Address	シャーシの 24 ビット ベースの MAC アドレス
Chassis GUID	シャーシの GUID
Product Version ID	バックプレーンのバージョン

シャーシの管理ポートの表示

装置の管理ポートの設定を表示する手順は、次のとおりです。

- ステップ 1** Tree フレームで **Chassis** を展開します。
- ステップ 2** Tree フレームで **Management Ports** を展開します。
- ステップ 3** **Serial**、**Ethernet**、または **InfiniBand** ブランチを展開して、その管理ポートの属性を表示します。表 3-19、表 3-20、および表 3-21 を参照してください。

表 3-19 で、Serial Management Ports ディスプレイのフィールドについて説明します。

表 3-19 Serial Management Ports ディスプレイのフィールド説明

フィールド	説明
Baud Rate	シリアル接続を設定する必要がある送信速度
Data Bits	シリアル接続を設定する必要があるデータ ビット値
Stop Bits	シリアル接続を設定する必要があるストップ ビット設定値
Parity	シリアル接続を設定する必要があるパリティ設定値

表 3-20 で、Ethernet Management Ports ディスプレイのフィールドについて説明します。

表 3-20 Ethernet Management Ports ディスプレイのフィールド説明

フィールド	説明
MAC Address	イーサネット管理ポートの Media Access Control (MAC; メディア アクセス制御) アドレス
Enable Auto Negotiation	自動ネゴシエーションをイネーブルにした場合、true が表示されます。自動ネゴシエーションをディセーブルにした場合、false が表示されます。
Administrative Port Status	ポートをシャットダウンした場合、down が表示されます。ポートを起動した場合、up が表示されます。
Current Port Status	ポートが正常に実行されている場合、up が表示されます。ポートが物理的、論理的、または管理上の理由でトラフィックを送受信できない場合、down が表示されます。
IP Address	イーサネット管理ポートの IP アドレス
Net Mask	イーサネット管理ポートのサブネット マスク
Gateway	イーサネット管理ポートのデフォルト IP ゲートウェイ
Address Option	設定された管理ポート アドレス オプション

表 3-21 で、InfiniBand Management Ports ディスプレイのフィールドについて説明します。

表 3-21 InfiniBand Management Ports ディスプレイのフィールド説明

フィールド	説明
Administrative Port Status	ポートをシャットダウンした場合、down が表示されます。ポートを起動した場合、up が表示されます。
Current Port Status	ポートが正常に実行されている場合、up が表示されます。ポートが物理的、論理的、または管理上の理由でトラフィックを送受信できない場合、down が表示されます。
IP Address	InfiniBand 管理ポートの IP アドレス
Net Mask	InfiniBand 管理ポートのサブネット マスク
Gateway	InfiniBand 管理ポートのデフォルト IP ゲートウェイ
Address Option	InfiniBand 管理ポートのアドレス オプション
MTU	InfiniBand 管理ポートの最大伝送ユニット
PKey	InfiniBand 管理ポートで使用されるパーティション 「InfiniBand 管理ポートのパーティションキーの設定」 (p.3-35) を参照してください。

InfiniBand 管理ポートのパーティションキーの設定

デフォルトのパーティション上で IPoIB マルチキャスト加入がディセーブルの場合は、インバンド IPoIB 管理パーティションを IPoIB マルチキャスト加入を許可するパーティションに変更できます。

インバンド IPoIB 管理パーティションを変更する手順は、次のとおりです。

ステップ 1 Tree フレームで **Chassis** を展開してから、**Management Ports** を選択します。

ステップ 2 **InfiniBand** を選択します。

InfiniBand Management Ports ウィンドウが表示されます。

ステップ 3 PKey フィールドで、インバンド IPoIB パーティションに使用するパーティション キーを入力します。

ステップ 4 **Apply** をクリックします。

